

「明るく 楽しく 心のみ 地域に誇れる学校」

学校だより



学校教育目標 ○仲良く力を合わせる子 ○明るく元気な子 ○進んで学習する子
小鹿野町立小鹿野小学校 10号 令和7年1月8日 発行

本年もよろしくお祈りします

明けましておめでとうございます。

昨年は保護者の皆様、地域の皆様に支えられて充実した学校運営をすることができました。心より感謝申し上げます。

今年は巳(み)年です。巳年は、成長と変化の象徴とされ、特に「転換の年」や「物事が大きく進展する年」として知られています。また、巳は蛇を象徴し、脱皮による再生や変化の意味を持つため、古くから巳年には新しい可能性が開ける年と信じられ、発展や飛躍が期待されると言われています。さらに、巳(み)と実(み)を掛けて「実を結ぶ」年と言われたりもします。〈参照〉<https://shirohebikai.com/>、<https://nengajo.iimono-labo.jp/>



本校では、今年4月に小鹿野町立小学校4校が統合されることから、まさしく「転換の年」となります。今まで多くの関係者の皆様に準備していただいたことが実を結び、新小鹿野小学校が飛躍しますよう尽力いたします。

また、そのためにも現小鹿野小学校の残り3ヶ月において、児童一人一人のよさを伸ばす教育活動を推進するとともに、児童が夢と希望を持って新たなステップへ進めるよう実践してまいります。今後ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

一年の計は元旦にあり

さて、「一年の計は元旦にあり」という言葉があります。これは、日本の戦国武将・毛利元就が、「一年の計は春にあり、一月の計は朔(ついたち)にあり、一日の計は鶏鳴(けいめい・早朝)にあり」と手紙に書いたことに由来するとも言われています。意味は、「物事の最初にしっかりと計画を立てておく」というものです。多くの人が年越しの瞬間には、「今年はこんな年にしたい」と思ったことでしょう。しかし、ややもすると、その決意は元旦だけのものになってしまいます。やはり、長期的な目標を目指す中、短期的(1か月、1日)な目標やそれを達成するための方法や手段を具体的に計画する必要があるでしょう。また、目標や計画と同様に、「まず動き出す」ということもとても重要だと思います。「いつかやろう」ではなく、「今からやろう」という気持ちで、動き出すことが大切なのです。私も絵に描いた餅とならぬよう長期的・短期的な目標を考え、実践していきたいと考えています。

末筆ではございますが、子供たちが新たな可能性を見だして飛躍しますよう、また、保護者の皆様、地域の皆様にとって、物事が大きく進展する年となりますことをご祈念申し上げます。

【文責:校長 船崎浩】

